

自主シンポジウム 7

5月15日(日) 14:10~16:40

大学3号館5階合同講義室

家族成員と子どもの発達 —国際家族年に寄せて—

企画者：祐宗省三（広島大学）
 司会者：祐宗省三
 話題提供者：朝枝喜代香（広島県山県郡豊平町双葉保育園）
 //：中澤潤（千葉大学）
 //：渡邊恵子（日本女子大学）
 //：堂野佐俊（山口大学）
 //：金子龍太郎（北陸学院保育短期大学）
 指定討論者：エジット・ナジ（ルント大学大学院）

子どもは、この世に生をうけて以来、多かれ少なかれ、両親、きょうだい、祖父母、教師・保母、仲間など多くの人たちと絶えず交わりながら自己を統制・調整しつつ社会化を目指して発達していく。家族は、子どもの発達にとって極めて重要な役割を担っていることは一般に強調されてきてはいるが、「各家族成員の果たす役割」や「家族成員間の相互作用の特質」等については、「保育学」の視点から理論的・実践的に十分検討されてきているとはいえない。そこで本シンポジウムでは、「子どもの発達の諸相」にとって「各家族成員はどのような役割を果たすのか」、また「家族成員間の相互作用の果たす役割は何か」について話題の提供と、それに基づく指定討論を行い、「家族成員と子どもの発達」について論考を深め「子どもたちの明日」を拓きたい。朝枝氏には祖父母の役割について、中澤氏には父親の役割について、渡邊氏には母親の役割について、堂野氏にはきょうだいの役割について、金子氏には、施設生活児について、それぞれ話題を提供してもらおう。この後、家族成員間の相互作用の役割について論議を深めてもらおう。ナジ氏には、各話題提供者に対する質問と、スウェーデンの家族成員と子どもの発達の特質についての言及を含め、外国人からみた日本の家族と子どもに関する印象を語ってもらおう。